

# 合同視察研修

9/29月

於 長野県上高井郡小布施町議会  
6次産業センター  
総務建設常任委員会・文教民生経済常任委員会



## 議会改革の取り組み・地域社会づくりの推進に向けて



議会改革の取り組みと6次産業センターで先進的な取り組みを行っている長野県小布施町へと足を運んだ。

町議会は、議員定数14名で4つの常任委員会がある。平成22年から通年議会を実施している。会期を約1年間とすることによって、常に議会活動ができる状態となり議会の更なる活性化を図るものである。また、町民から信頼される開かれた議会を目指し、平成24年

9月に議会基本条例を制定した。この条例は、町民の信託を受け止め、二元代表制の一方の担い手として、小布施町全体の福祉の向上を議会における討議により実現するため制定したと

している。

午前中は議会改革の取り組みについての研修を行い、各委員より多くの質疑がなされた。要旨として、議会から町民への出前報告、通年議会政策立案常任委員会、議会たよりの短期間での配布や台風・ゲリラ豪雨等による栗・リンゴ等農産物の被害への長期的な対策等である。午後の研修は、振興公社事務局次長より、6次産業センターの概要説明と現地視察を実施した。建設費約3億円、国庫補助金、また行政も多額な費用を負担し、平成11年9月にオープンした。民間企業委託等を検討したが、平成2年9月に設立された振興公社で管理・運営している。事業内容は、自社製品の販売、観光農園やレストランの運営等を行っている。

今回の研修をもとに、議会改革をさらに推進し、町民、町益のためのまちづくりに邁進してまいります。

総務建設常任委員会

委員長 櫻沢克幸

## 平成26年度 町村議会議員研修会

10/17金

於 吉見町民会館  
「フレサよしみ」



## 時局展望及び地域創生と課題について



今年も埼玉県町村議会議長会主催による議員研修会が、テレビでお馴染みの時事通信社解説委員の田崎史郎氏講演のもと「時局展望」と題し開催されました。

主な内容として「政治が経済を動かす時代」であり現安倍政権は、2018年9月までの長期政権となり、菅義偉官房長官と石破茂地方創生大臣が支柱となって歩みを進めていくと述べ、

「政策課題」としては、政権の本質は経済重視、経済が好調であれば安保も可能であり株価連動型政権であるとも述べておりました。また、今後の課題である消費増税・TPP・地方再生・女性活用・原発再稼働・中韓・北朝鮮外交にも触れ講演は終了しました。

政治記者として常に政治と隣り合わせだった田崎氏のお話は、ニュースになる表側と政治家の人間性に触れることができる裏側があり大変ためになりました。

これからの政治家に求められるのは、学歴ではなく「人を動かす力」であるとも述べられたことが、地方議会を務めるものとして展望を持つこともできました。

文教民生経済常任委員会

委員長 大島輝雄

町民の皆さんが笑顔で暮らしていけるよう、各常任委員会では、研修を通して勉強をしています。

